

私のカルテ

No 334

気管支喘息について



津島市民病院
呼吸器科医師
平野 晋吾

【概念】

気管支喘息は、気管支に炎症が続き、さまざまな刺激に敏感になり、空気の通りみちが狭くなる病気です。高齢になって初めて喘息になる方もおられます。喘息の炎症はダニやハウスダスト、花粉、ペットのふけなど日常生活のありふれた物質に対するアレルギーが関わっていることが多いのですが、成人の喘息ではアレルギーの原因物質が特定できないこともあります。

【症状】

喘息は、咳や痰、息苦しさを「ゼーゼー」「ヒューヒュー」という喘鳴など、さまざまな症状があります。最近では咳だけの喘息(咳喘息)も増加しています。また、胸の痛みやのどに感じる違和感なども喘息の症状のひとつです。

このような症状が続いている方は、一度病院・診療所を受診しましょう。治療せずに放置すると、気道の炎症が悪化して、発作の頻度が多くなったり、症状が重くなったりします。

【検査】

スパイロメトリーという機械を用いて気管支の狭窄があるかどうかをみたり、血液検査でアレルギー反応の強さを調べたりすることがあります。

【治療】

発作が起きた時に屯用の気管支拡張薬などの薬で一時的に狭くなっている気管支が拡張することにより症状が改善し、治ったと勘違いされる方も多いですが、発作時に使用される気管支拡張薬は気管支を広げる作用はありますが気管支の炎症を取り去る効果はありません。病気の根本的な原因はあくまでも慢性的な気管支の炎症ですから、炎症を取り除かなければいずれた発作が起きます。したがって、日頃から炎症をおさえる治療(予防薬)を行うことが大切です。その治療の主役がステロイドの吸入薬です。ステロイドは長期服用すると様々な副作用を起こすことが知られていますが、飲み薬ではなく吸入で用いる場合は副作用も少なく安全といわれています。その他の薬として、抗

アレルギー薬などの飲み薬などを用いたり、近年では分子標的薬の注射薬を使用する場合もあります。

また、薬物治療以外に環境整備が重要な治療のひとつといえます。家のホコリに含まれるダニが抗原となっていることが多く、ダニを少なくすることが大事です。洗面所や風呂などの水回りに発生したカビにも気を付けましょう。タバコは喘息に悪い影響を与えますので喫煙している方はできるだけ禁煙に努め、周囲に喫煙している方がいる場合はできるだけタバコの煙を吸わないようにしましょう。また人によつては犬、猫、鳥等のペットが原因となることがあります。ペットに関しては医師とよく相談す

るようにつけてください。

【おわりに】

気管支喘息はすぐには治らない慢性的な病気です。症状がないときも気管支の炎症は続いていることがあります。治療を開始して症状がよくなったときも治療薬の調整や中止については安易に自己判断はせず、医師の指示に従うようにしましょう。

